

中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

日本道路建設業協会中部支部(岩田裕美支部長)の会員を中心に中部5県の道路事業に携わる有志で結成する「中部緊急防災隊」(岩田本部長)の2012年度防災隊式典が7月24日、名古屋市名東区のサンプラザシーズンズで開かれ、180人が参加し、午前中には各地区の代表者と事務局により班長会議を開催しました。

式典では、開会の辞、隊旗入場に続いて、岩田本部長が訓示に立ち、「今後いかなる災害に対しても、いままで培った経験を生かし対応をしていく。隊員各位にはこれまで以上に緊急連絡体制の強化、資機材の点検・確保などにより、より一層の迅速かつ的確な行動をお願いします」と述べた。

来賓あいさつでは、中部地方整備局の田村秀夫企画部長が、「中部地方では南海トラフを震源とする巨大地震が起こることが想定されている。巨大災害に備えてしっかりと準備を進めることが重要だ」と述べるとともに、昨年、東日本大震災では東北地方整備局が中心となり「くしの歯作戦」を展開したことに触れ、「この作戦は、東北地整と多くの建設業の皆さんが命を懸けて実施した作戦で、多くの人員、車両、物資を運ぶ道路を確保したことが、地元の救援・救助、復興に役立った。中部でも中部版くしの歯作戦の具体化に向けた検討を進めているが、皆さんの協力がなければ何もできない。引き続き協力してほしい」と要請した。

次いで、道建協の渡邊忠泰環境・安全労働委員長があいさつし、昨年9月の台風12号で三重県紀宝町が被災した際、中部緊急防災隊が迅速に対応したことなどを称賛し、「ライフラインの復旧は建設業の力なくしてはあり得ない。今後も地域からますます期待される防災隊になることを祈念する」と語った。その後、民部順一隊長が綱領を朗読した。



岩田本部長挨拶



来賓各位



防災隊式典



班長会議



中部地方整備局 田村企画部長